



Since 1965 Creativity and Curiosity

福井高専

青武台だより

令和6年
3月18日発行

No.233

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Fukui College



CONTENTS

P2 ▶ 卒業生・修了生に贈る言葉
P4 ▶ 卒業生クラス紹介
P9 ▶ 修了生クラス紹介
P11 ▶ 学生の将来と進路
P13 ▶ 活躍する仲間

P20 ▶ 研修旅行
P22 ▶ 校外研修
P24 ▶ 文化体験日
P25 ▶ 退職にあたって
P26 ▶ 学校通信

Special Interview

～卒業生・修了生に贈る言葉～



卒業・修了おめでとうございます

校長 長谷川 章

卒業・修了を迎えられた皆さん、卒業・修了おめでとうございます。皆さんは、中学校卒業後の15歳から5年間一貫教育によって、幅広い教養と専門知識や技術を修得し、実践的な能力と論理的思考力を身につけたことと思います。福井工業高等専門学校での5年間もしくは7年間は、皆さんの人生の中でも最も大きな成長を遂げた重要な時期です。今後、本校で学んだ知識や技術を社会や進学先で活かされ、大いに活躍されることを心から願っております。

新型コロナウイルスの影響を受け在学中の3年間に渡り、学生諸君の学校生活は大きな制約を受けました。教職員も体験したことのない中で遠隔授業を実施し、皆さんには多大な負担をかけました。また、多くの行事の中止や規模縮小、なかでも皆さんの学校生活の中で重要な課外活動までも大きく制限されました。さらに、本校が進めてきた学生の海外派遣もほとんどできない状況であり、皆さんが大きく成長する貴重な3年間で著しく制約されたことは本当に残念でした。しかし、このような逆境の中においても辛抱強く耐え、且つ工夫を凝らしながら授業に対応し、必要な知識や技術を修得された皆さんの努力や経験は、今後の人生で必ず活かされると思います。また、制約の多い中においても課外活動や各種コンテストにおいて、立派な成果を挙げてきた学生諸君に対して心より敬意を表したいと思います。

卒業・修了生の皆さんが就職・進学後に技術者や研究

者として、輝く未来に羽ばたくためには、「失敗を恐れず挑戦する」姿勢だけでなく、高い倫理観に基づく行動規範を持ち続けることが大切です。また、オンライン化が進む中、希薄になりがちな現代社会の人間関係においてこそ、日常的な礼儀正しい挨拶、周りへの感謝の気持ちや気遣いの一言を常に心がけることが肝要です。これまで本校の授業や寮生活、課外活動などを通じて培った人間力を基にチームの一員として、諸先輩や同僚らと相談しながら何事にも失敗を恐れず、自らの夢に向かって果敢に挑戦して下さい。

Walt Disneyは、「The special secret of making dreams come true can be summarized in four C's. They are Curiosity, Confidence, Courage, and Constancy.」という言葉を残しています。夢をかなえる秘訣は、4つの「C」に集約される。それは、「Curiosity – 好奇心」「Confidence – 自信」「Courage – 勇気」そして「Constancy – 継続」である。本校を旅立つ学生諸君は、未知の物事や新しい事柄への好奇心を持ち、自分自身の力を信じて勇気をもって行動に移すことが大切です。新しい物事への挑戦に失敗はつきものですが、多少の失敗があっても問題ありません。失敗からの学びは人を成熟させ、成功につながる一つの過程となります。そして本当の意味の学びは、本校を卒業したこれから始まると肝に銘じてください。これまでの経験をもとに自らの分野で必要な知識や技術を学び続けていく地道な努力こそが、夢をかなえるための秘訣です。

最後に、これまで学生諸君を見守りご支援頂いた保護者の皆様、関係者の方々にお祝いと感謝を申し上げますと共に、卒業生・修了生に輝かしい未来が開けますよう、益々のご支援ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

Special Interview

～卒業生・修了生に贈る言葉～



教育後援会会長 山 博充

縁を大切に

本科卒業生、また専攻科修了生の皆様、誠におめでとうございます。

2020年に始まりましたコロナも、昨年5月には5類に移行し、やっと平常の学生生活を少しだけですが、享受出来たことを一緒に喜びたいと思います。

皆様は中学卒業時に強い意志を持った人もいればそうでない人もいたかもしれませんが、何頭の縁があって本校に入学され、そして自由でのびのびとした校風での環境のもとで成長され、今巣立っていかれます。これから社会人として自分自身を支え、ゆくゆくは日本を支えていってください。そのなかでは、また新たな縁があって、就職し、または、進学後就職される方もいらっしゃると思いますが、この何頭の縁というもの大切にしていきたいと思います。この時代に生まれ、あるところの近い場所に住み、仕事を共にし、一緒に遊ぶ、その瞬間々が人生そのものであります。そのそれぞれの時を何頭の縁のある人と過ごすということに不思議な感覚を感じませんか。私も本校を卒業して四十数年たちましたが、あっという間ではありませんでした。振り返ると、時はすぐに経ってしまったというのが実感です。その中でたくさんの人と出会い、教えられたり助けられたり、思い返すと不思議な感覚であり、ありがたかったなと思っております。

皆様におかれましても、これから喜怒哀楽がたくさんあると思いますが、いろいろな縁を、大切にいただき、大活躍せずとも、それぞれのかげがえのない人生を、健康第一で過ごしてください。



進和会会長 野嶋 祐記

読書の勧め

卒業並びに修了を迎える本科及び専攻科の皆様、おめでとうございます。進和会を代表して心からお祝い申し上げます。

4月からは、新たなステージで皆さんの更なる活躍を期待いたします。皆さんは3年余りコロナ禍での学生生活を送られたと思いますが、不便さや苦労されたことをばねにプラスに転換してこれからの仕事や勉学に活かしてください。

今日は「読書」についてお話したいと思います。今更読書ですか?と思われる方も多いと思いますが、専攻科へ進まれる方は今後も勉学に励まれるので教本や参考書物を読まれることも多くあると思いますが、自分が興味ある分野の本を読んでいたきたいと思います。

近年、近隣の本屋がめっきり姿を消してしまいました。スマホやタブレットなどでデジタルブックでの読書される方もいらっしゃると思いますが、総じて本を読まなくなってきているようです。必要な情報はスマホなどですぐに得ることができますし、多くの情報が溢れています。中にはフェイクなものも多く混在しています。見極める目を養ってください。そのためにも読書は有効と考えます。忙しい仕事の合間や夜寝る前に、しばらくの時間でも読書をしてみてください。頭を休ませるために読書をしてみてください。私もそれほどできていませんが、最近では落合陽一さん、成田悠輔さんなど若い方の本を読みました。遠藤周作さんのエッセイも好きです。

時には頭を空にして関心ある本を読んでいたきたいと思います。忙しいデジタル時代の時だからこそ、「頭と心と身体のバランス」を保つためにも、静かに読書する時間をお勧め致します。進和会はいつも皆さんを応援しています。

機械工学科



～卒業生クラス紹介～

機械工学科5年担任 千徳 英介

卒業おめでとう

皆さんは、2年生の時から、コロナ禍の中で異例の学生生活を送ってきました。想像していた学生生活とは異なり、新たな形式のオンライン授業にも適応しなければならず、デバイスの取り扱いや学習モチベーションの維持に苦労したでしょう。3年生の研修旅行は県内のみでしたが、芝政で楽しむ姿が印象深かったです。4年生のインターンシップでは、一人一人が真剣に取り組み、企業から高評価をいただきました。5年生の卒業研究では、本稿の執筆時点ではまだ発表会が終わっていませんが、5年間の努力の集大成として、皆さんの成長を感じる機会となるでしょう。5年間努力を重ね、卒業を迎えたことを互いに称え、誇りに思ってください。私も微力ながら皆さんの学生生活を支えることができたことを嬉しく思います。最後に、武田鉄矢さん主演の映画「刑事物語」のラストシーンのセリフ「歌は歌って初めて歌であり、鐘は叩いて初めて鐘であり、愛は与えて初めて愛である」をもじって、はなむけの言葉を贈ります。「エンジニアは人を幸せにして初めてエンジニアである」。まずは皆さん自身の幸せを追求し、それを人に広く伝えるエンジニアになることを願っています。ご活躍ください!



機械工学科5年代表 増田 峻也

5年間を振り返って

福井高専での学校生活も終わりが近づいてきました。春からはクラスメイト達が各々の目標に向かって新たな生活を迎えます。入学時には想像もつかなかった将来像が明確になりました。学校生活を振り返ると、製図やレポート、課題など締切に追われる毎日でしたが、充実した日々を送っていたと今では懐かしくさえ感じます。そんな日々を送ることが出来たのも、クラスメイトや先輩、先生方のおかげだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

私の高専での思い出は、3年時での研修旅行です。コロナ禍で福井県内ではありましたが1泊2日の研修をクラスメイト達とともに過ごせたのはとても思い出に残る貴重な体験でした。

学校生活では、精神面での成長が感じられました。目の前の困難にも臆することなく挑戦し、時には協力し合って解決に導く、その過程がとても大事だと思います。在校生の皆さんも、目の前の問題を重く考えすぎずポジティブに捉えることで今までとは異なる解決策が見つかるかと思います。

最後になりますが、福井高専を卒業するにあたりクラスメイトである5年機械工学科、そして先輩や後輩、先生方の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



電気電子工学科



～卒業生クラス紹介～



電気電子工学科5年担任 **山本 幸男**

卒業生に贈る言葉

諸君 卒業おめでとう。旧担任の堀川先生から思いがけず担任を引き継ぐことになり、夢中でこの1年間やってきました。思えば諸君らはコロナ禍に大きく影響され、研修旅行も通常のスタイルでは実施できなかったのでしたね。そしてインターンシップ。で5年生になったら担任が交替と、実に目まぐるしい日々だったのではと思います。進路選択ではなかなか思うような結果が出ずに悩んだ人もいるでしょう。また仮進級の解除に苦労した人もいるでしょう。そして皆それぞれに卒業研究で大変だったのではないのでしょうか。でもこれらすべてが諸君らの良い経験になるはずだと、私は信じています。

2024年からは「風の時代」なんだそうです。自分を信じ、自分で情報を集め、そして自分で決断していかなければなりません。1年間だけです。担任として諸君らにかかわった立場として、諸君らを心から応援しています。頑張ってください。



電気電子工学科5年代表 **南茂 礼香**

卒業生の言葉

福井高専での学校生活を振り返ると学校行事などの楽しいこともありましたが、試験、レポート、課題、授業と眠い目をこすりながら忙しく過ごす日々でした。しかし、その中で多くの人に支えられながら、成長や喜びも経験することができました。

試験内容や卒研にて分からないところを先生方に質問した際には、お忙しいながらも時間いっぱい教えてくださいました。雑談のためだけに教員室を訪れた際にも優しく迎えてくれたのを覚えています。見かけた際には声をかけてくださる先生もおり、気にかけていただきました。就職先にて悩んでいた際にもたくさんの先生からアドバイスをいただき、面接対策にも協力してくださいました。

一緒に勉強や課題をして、たまに遊びに行ったりご飯を食べに行ったりと息抜きをしながら、五年間共に支え合った友達がいてくれました。

そして、家に帰ると落ち込んだときには慰めて応援してくれる家族がいました。

私が卒業を迎えることが出来たのは関わってくださった先生方、友達、家族のおかげです。心から感謝しています。この高専生活にて培った知識や技術、精神力を就職先にて活かしながら強く前進していきたいと思っています。



電子情報工学科



～卒業生クラス紹介～



電子情報工学科5年担任 **小松 貴大**

卒業生に贈る言葉？

今年は暑苦しい言葉はやめて3年間を振り返ります。

まず3年生の時。研修旅行がなんと一泊二日で隣県まで出れることになり、担任としてほっと胸を撫で下ろしたものの、学生側としても教員側としても、消化不良があった点は否めません。この分は間違いなく「卒業」が決まった後に卒業旅行として友人同士で解消してください！

次に4年生の時。就職活動が12月スタートになった年でもあり、後期は色々忙しかったですね。付き合いが浅かったとはいえ、クラスメイトが1人なくなってしまった最中、インターン報告会、高専祭、プロコン、応援団(体育祭)と怒涛の行事連チャンの中でも皆さんは頑張っていましたね。きっと皆さんなりに心を整理していたのだと感じています。泣きたい時は大人だって子供だって関係なく泣けばいいと思います。泣くことで心が整理できる事も多いです。

最後に5年生の時。無事全員の行き先が決まったのは12月でしたね。不安になった学生もいたかと思いますが全部担任のせいにしてください！けれども社会に出たらもう担任のせいにはできませんから今年が最後ですよ？

語りたい事はたくさんありますがここでは書ききれないので、卒業しても気兼ねなく訪ねてきてくださいね！続きはその時に！！



電子情報工学科5年代表 **松田 張万**

感謝します

福井高専に入学したのがもう5年前の出来事で、卒業が近づいているという実感が日に日に増しています。思い返せば長いと思われる5年間もあっという間でした。

2年生時には新型コロナウイルス感染症が流行り、やっと慣れてきた高専に半年以上通わなくなるという事態が発生しました。しかし、コロナがあったからこそ生まれたサービスも多くあります。コロナや災害といった事態が起こってしまったとしても、だからこそ生まれる需要に対して生産していただけるような技術者でありたいと思える一年間でした。

4年生の時には、全国高専プロコンに出場しました。僕自身、複数人でのアプリの開発は初めてだったので思うように進まず、苦戦したのを覚えています。各々システムを良くしたいと思って意見しているが故に意見が食い違って上手く進まなかったのだと思います。しかし、大会では特別賞をいただきとても嬉しかったです。

5年生では、高専祭実行委員として協賛金集めをしました。高専祭準備期間はとてつもなく忙しかったことしか覚えていないので、これといって書くことはありません。ただ、この経験があったからこそ、私はどんな企業に行っても余裕だと思います。どの出来事を思い出しても一人だったことは一度もありませんでした。いつも何かを成し遂げる時には隣に仲間がいてくれました。在校生の皆さんは仲間を大切に、どうか後悔のないように様々なことに挑戦してほしいと思います。そして、そういった挑戦を応援してくれる親御さんや教員の方々への感謝は忘れないでください。

最後に福井高専で働く全ての教職員の方々、専攻科の先輩、本科の後輩達、5年間お世話になりました。

物質工学科



～卒業生クラス紹介～



物質工学科5年担任 **坂元 知里**

我が子たちよ、大いにこだわれ!

物質工学科5年のみなさん。ご卒業おめでとうございます。目を閉じると皆さんと過ごした何気ない日常が溢れんばかりに思い浮かびます。皆さんのことが本当に大好きでした。素敵な思い出をありがとうございました。

私から皆さんに最後、本田圭佑氏の言葉を贈りたいと思います。それは「環境にこだわれ!」です。仕事や学ぶ上で、環境はとても大切です。甘ったるい環境に身を置くとその環境に慣れてしまいます。逆も然りです。自分にとって少しチャレンジングな環境に身を置くと、はじめはとても苦しいですが、次第にその環境に慣れ、「当たり前」の環境になっていきます。それを繰り返しましょう。一步でも半歩でも前に進む努力をしましょう。「できるからやる」は当たり前です。「自分にできるかな」に挑戦しましょう。そしてその時は自分1人で頑張らないように。サポートして下さる仲間がいることを忘れないでください。これも含めて「環境」です。「環境」にこだわれれば、自ずと仕事を楽しみと思えるようになっていきます。もちろん「笑顔に向ける刃なし、笑顔に勝る化粧なし」も忘れないでね。皆さんの人生が楽しいものとなるよう心から祈っています。

最後になりましたが、至らぬ私の指導にご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、教職員の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



物質工学科5年代表 **岡田 ひなた**

当たり前に感謝を

気がつけばとうとう二十歳となりました。卒業の年です。入学したばかりの頃は、二十歳となればきっと素敵な大人になるのだろうと、漠然と考えていました。しかし二十歳となっても内・外面は一年生のことからあまり変わっていないと感じています。

しかしながら二十歳となり、私自身変わったと感じることもあります。それは体質です。今までと同様の食生活をしていても、なぜか身体が冷え込んだり、重く感じ、全身が凝り固まった感覚が増すばかりです。これは五年生となり授業で運動する機会が減少したためだと思います。しかし自発的に運動をしようと試みると腰が重く、なかなか思うようにできません。授業で運動をするときは面倒だと思っていたことが、自発的に運動をしようとすると、後者の方がよっぽど面倒だと感じています。何が言いたかったかという「無くしてからありがたみに気づくことが多くある」ということです。私たちは高専で当たり前、時には面倒だと思うような事柄が多くありました。しかしそれをきっとありがたいと思う時が来るのだと思います。感謝の気持ちを持ちつつ、今後も考えることをやめず、常にアンテナを張り、目標を持ち、そして素敵な大人像に近づいていきたいです。

最後になりましたが先生方、先輩方、そしてたくさんの方々の後輩たち、大変お世話になりました。ありがとうございました!



環境都市工学科



～卒業生クラス紹介～



環境都市工学科5年担任 **大和 裕也**

5Bのみなさんへ

皆さん卒業が目前になってきましたね。初めて自分が皆さんのクラスの授業を担当したのは2年生の建築計画Iの授業でした。当時はまだコロナ禍で全員マスクをしていて、口元が見えず全員の名前を覚えるのが大変だった印象があります。あれから4年間で皆さんすっかり大人になりましたね。自分が担任を持たせてもらった3年間はいろいろありましたが充実した日々でした。研修旅行やインターンシップの際はご迷惑をたくさんおかけしました。初めての担任で至らないところがたくさんありましたが、支えていただきありがとうございます。この3年間は、自分もいろいろ悩み物事を判断するなかで、失敗もたくさんありましたが、自分にとって非常に成長する機会でありました。

卒業後の進路は、企業で働く人や大学や専攻科に進学する人など様々ですが、自分の目標に向かって進んでいってください。卒業したあとは楽しいことだけでなく、つらいことやかなしいこともあると思います。何かあったら気軽に相談しにきてください。また、何もなくてもたまに顔をみせにきてください。待っています。

残り少ない高専生活ですが、最後まで走り抜けてください。ありがとうございました!!



環境都市工学科5年代表 **小野 準士郎**

5年間を振り返って

私は5年間高専で、たくさんのことを経験することができました。この5年間は思いがけない挑戦と変化に満ちた5年間でした。しかしその中で最も大きな影響を与えたのはコロナウイルスでした。

私が2年生の時、世界中でコロナウイルスが流行り、学校生活にも影響が及びました。対面でしていた授業はオンラインに、部活や高専祭などの行事も中止となり、最初は戸惑いと不安に包まれました。画面越しに先生や友達と交流することは新鮮でありながら、実際に会えないことが寂しかったです。それでも、友達とスマホで課題の確認を行ったりなど学びの場がデジタルに変わったことで、自己学習や情報収集のスキルが向上したと感じました。

思い出に残る瞬間の一つは、研修旅行でした。コロナの影響で福井県内での研修になりました。北陸新幹線の裏側を知れたりなど地元の良さを再確認できました。また、バーベキューをしてクラスの親密度が上がったとても楽しい行事でした。

高専生活はコロナなどの予測不能な変化の連続でしたが、これらの困難を乗り越えたからこそ、クラスの結束力が強まりました。高専では、ほかの高校や大学では経験できないようなことをたくさん経験することができてよかったです。



生産システム工学専攻

～修了生クラス紹介～



生産システム工学専攻主任 青山 義弘

修了生に贈る言葉

修了おめでとうございます。皆さんの福井高専における日々が充実したものであったことと願います。同時に、今は新たな未来への一步を踏み出すための節目でもあります。これまで7年間高専で学んできましたが、それは決して簡単なものではなかったと思います。社会へ旅立つ人、大学院へ進む人、これからの未来での挑戦においても、同じ情熱と精神を持ち続けてください。高専で得た知識は、単なる情報だけでなく、問題解決や創造力といった能力を養う基盤となります。この力を駆使し、技術者としての専門性を高め、社会に新しい価値を提供していくことを期待しています。また、高専で築かれた仲間たちとの絆は、人生の中での大きな支えとなるでしょう。お互いに助け合い、共に成長し、未知の領域で新たな成功を築いていってください。未来への不安や挑戦があるかもしれませんが、新たな人生の舞台で輝く存在となってください。詩人で書家の相田みつをさんの言葉に「一生勉強、一生青春」というものがあります。勉強といっても学問に限らず、いろいろなことにチャレンジして学び続けて下さい。



生産システム工学専攻2年代表 田中 勇氣

不易流行

私は、ものづくりに興味があることから高専に入学しました。1年生のころから専門科目に触れ、プログラミングや電子工作など多くのことを本科で経験しました。そんな本科5年間を過ごし、自分が専攻科に進学することなど考えてもみませんでした。

この専攻科では、本科に引き続き特別研究を行い、自由に行える機会をいただきました。それだけでなく、授業では本科で関わり合いのなかった別の学科の人たちと触れ合いながら取り組むことで、今までとは異なる考え方や価値観を得ることができました。専攻科では、今まで自分が学んできた専門分野以外の科目を学ぶことも多く、苦戦することもありましたが、知見を広げる良い経験になりました。改めて考えると、多様性が求められる現代社会で、専攻科は、「多様性に富んだ技術者の育成」という点において、先進的な学習環境であったと実感しています。

最後になりますが、研究活動でさまざまな助言をいただいた斉藤先生、7年間ご指導・サポートしていただきました先生方、本当にありがとうございました。専攻科で得た知識、経験を活かし福井高専専攻科の名に恥じない姿をお見せできるように頑張ります。



環境システム工学専攻

～修了生クラス紹介～



環境システム工学専攻主任 後反 克典

羽ばたく学生さんへ

専攻科修了生の皆さん、修了おめでとうございます。

2年間の専攻科での学生生活はどうだったでしょうか。この原稿を書いている今は、ちょうど特別研究発表会が終わったところですが、2年生の発表は頼もしく安心して見ることができました。1年生の発表のときは、やや心もとなかったことを思い出し、皆さんの成長を嬉しく感じているところです。また、物腰や物事に対する考え方、対応も大人になっていることを感じさせてくれました。

さて、その大人の皆さんは、これから7年通った福井高専から旅立ち、いよいよ新たな環境や社会に飛び込むことになります。新しい環境では、最初のうちは覚えることも多く大変かもしれません。とにかく最初は真摯に打ち込んでください。やがて何年かすると、「良くも悪くも」慣れてきます。経験や慣れは、仕事を効率化させられますが、ともすると初心を忘れがちにもなります。意外にフレッシュだから気づけることもありますよ。

これから色々と大変なこともあるでしょうが、どうか着実に歩いていってください。頑張ることは大切ですが時には休むことも大切です。無理はしすぎないように！心身の健康を保ってご活躍されますことをお祈りいたします。



環境システム工学専攻2年代表 角屋 亘紀

人生は迷路, ゴールに向けて

あっという間に7年間、福井高専に通い続けました。学校内が広く、入学当初は迷子になり、気づけばコロナ禍に入りオンライン授業で迷う毎日を過ごしました。研究では実験の方法や論文の書き方で迷い、専攻科では、他学科や社会の方との交流が増え接し方などで迷いました。

これから私たちは専攻科を修了し、学外へ進学や社会に出ていきます。都会の真ん中で迷子になったり、慣れない仕事で迷子になったり、たくさん迷うことがあるかと思います。福井高専で得た迷子からの脱却方法は今後の人生においても大きく役に立つと思います。人生迷うことが多いと思いますが、ゴールに向けて一歩ずつ歩んでいきます。

最後になりますが、多くの先生方、職員方、そして家族の支えがあって7年間を充実した生活にすることができました。この場を借りて感謝申し上げます。私たちの活躍を温かい目で、時には厳しい眼差しで見守ってくださると幸いです。



Special Interview

～学生の将来と進路～

令和5年度 進路内定状況

キャリア支援室長 田安 正茂

本校の本年度の就職希望者の割合は58%で、その県内企業への内定者は39%でした。どちらも昨年度よりわずかに増加しています。本校への求人数は延べ9,053社で昨年度から約2,000社増加しました。全体の求人に占める県内企業の割合は5.6%となっています。本年度の就職活動スケジュールは、ほぼ前年度と同様でしたが、来年度以降の就職活動については、インターンシップを採用活動の一環として実施する企業も出てきており、それらの企業への対応が必要となっています。

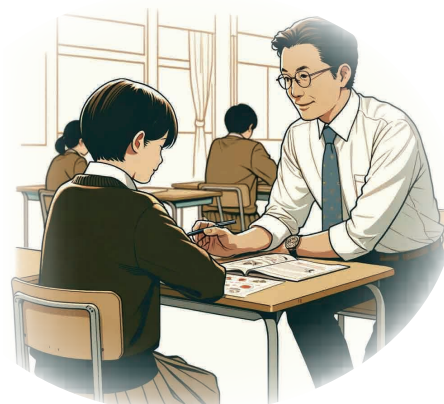
他方、進学状況について、本科の進学内定者は専攻科への進学者35名、大学への編入学者38名で、編入学内定者は昨年度と比較して30%減少しました。専攻科から大学院への進学内定者数は12名で、昨年度と比較して3倍となりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、キャリア教育に関連する様々な行事も対面で実施することができました。本校主催のキャリア教育セミナーも、コロナ禍前と同様に本校第1体育館を会場に140社の企業にご参加いただき、対面にて開催

する事が出来ました。とはいえ、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザに感染するリスクは依然として高く、今後も予防と体調管理を続けていく必要があります。

来年度の就職・進学のための活動は、既に準備を始めていることと思います。これからの社会がどのように変化していくのかを正確に予測することは困難ですが、自分の人生を自分で切り開く覚悟を持って、進むべき道を選択していきましょう。

最後に、本校のキャリア教育にご理解とご尽力いただいている関係教職員および保護者のみなさまに厚く御礼申し上げます。



令和5年度 進路内定状況

令和6年1月25日現在

学科	区分	卒業・修了 予定者数		進 学 希望者数		内 定 者 数						未 定 者 数		就 職 希望者数		内 定 者 数				未 定 者 数		そ の 他				
						大学・大学院		専 攻 科		そ の 他 進 学						県 内		県 外								
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本 科	機 械 工 学 科	34	1	14	1	9	1	4	0	1	0	0	0	20	0	6	0	14	0	0	0	0	0	0	0	
	電 気 電 子 工 学 科	30	2	5	0	3	0	2	0	0	0	0	0	25	2	12	0	13	2	0	0	0	0	0	0	
	電 子 情 報 工 学 科	37	0	15	0	6	0	9	0	0	0	0	0	22	0	7	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0
	物 質 工 学 科	24	12	13	6	8	1	5	5	0	0	0	0	11	6	7	1	4	5	0	0	0	0	0	0	0
	環 境 都 市 工 学 科	29	12	20	2	10	1	9	1	0	0	1	0	9	10	6	3	3	7	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	154	27	67	9	36	3	29	6	1	0	1	0	87	18	38	4	49	14	0	0	0	0	0	0	0
専 攻 科	生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻	18	1	6	0	4	0					2	0	12	1	3	1	8	0	1	0	0	0	0	0	
	環 境 シ ス テ ム 工 学 専 攻	9	7	5	1	5	1					0	0	4	6	3	3	1	3	0	0	0	0	0	0	
	小 計	27	8	11	1	9	1					2	0	16	7	6	4	9	3	1	0	0	0	0	0	0
合 計	181	35	78	10	45	4	29	6	1	0	3	0	103	25	44	8	58	17	1	0	0	0	0	0	0	

～学生の将来と進路～

令和5年度 大学編入学試験・高専専攻科入学試験合格状況

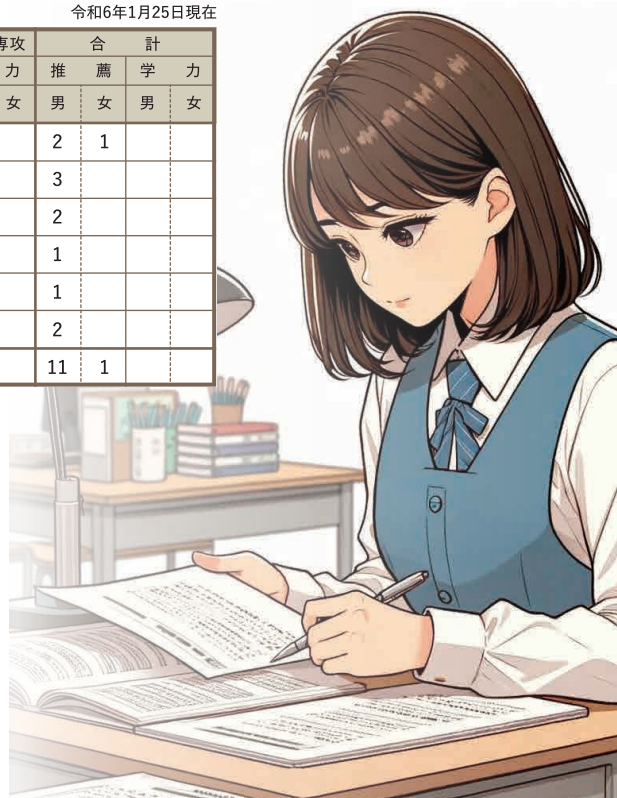
令和6年1月25日現在

大学等	学部等	機械工学科		電気電子工学科		電子情報工学科		物資工学科		環境都市工学科		合計	
		推薦学力		推薦学力		推薦学力		推薦学力		推薦学力		推薦学力	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
群馬大学	理工学部		1										1
千葉大学	工学部			1					1				2
東京大学	工学部									1			1
長岡技術科学大学	工学部	2							1	1			4
金沢大学	理工学域		1				1						2
福井大学	工学部	1		1		1	3	4	1				7 1 3
岐阜大学	工学部						1						1
名古屋工業大学	工学部			1									1
豊橋技術科学大学	工学部	2							2	5	1	1	9 1 1
三重大学	工学部										2		2
京都工芸繊維大学	工芸科学部	1											1
佐賀大学	理工学部	1											1
千葉工業大学	先進工学部					1							1
福井高専専攻科	生産システム工学専攻	3	1	2		9							14 1
	環境システム工学専攻							4	5	1	2	7	1 6 5 8 1
計		10	3	1	4	1	10	5	12	6	1	9	1 10 1 45 7 20 2

令和5年度 大学院入学試験合格状況

令和6年1月25日現在

大学院	専攻	生産システム工学専攻		環境システム工学専攻		合計	
		推薦学力		推薦学力		推薦学力	
		男	女	男	女	男	女
金沢大学大学院	自然科学研究科	1		1	1	2	1
福井大学大学院	工学研究科	1		2		3	
北陸先端技術科学大学院大学	先端科学技術研究科	2				2	
京都工芸繊維大学大学院	工芸科学研究科	1				1	
奈良先端技術科学大学院大学	物質創成科学	1				1	
神戸大学大学院	科学技術イノベーション研究科			2		2	
計		6		5	1	11	1



Special Interview

～活躍する仲間～

電子情報工学科4年 藤野間 奏人

「プロコンに参加して」 (自由部門「敢闘賞」受賞)

2023年10月14日、15日に開催された全国高等専門学校プログラミングコンテスト第34回福井大会 自由部門に山腰大輝、中西奏一郎、治内杏太、鈴木学、私の計5名で参加した。

大会のレベルは高く、残念ながら結果は敢闘賞であった。本番では予想外の苦戦が待ち受けており、作品の魅力を相手にうまく伝えられなかったことが反省すべき点だと考える。説明が抽象的であったためか、審査員に感動や共感を呼び起こすプレゼンテーションが上手くできなかった。今回のプロコンを通じて、技術者として成功するためには、単なる技術力だけではなく、相手を引き込むトーク力と効果的なプレゼンテーションスキルも重要であることを痛感した。質の高い作品を生み出すだけではなく、それを効果的に伝えることが重要だと気づかされた。つまり、自身の表現力の高さやプレゼンテーションスキルの高さが必要であったと考える。反省点が多い中でもプレゼンテーション終了後に多くの質問を頂いたことは、興味を持ってもらえる作品であったと自負したい。

最後に、敢闘賞という結果ではあったが、プロコンで得た学びや成長は、敢闘賞以上の価値あるものと考え、精進していきたい。



電気電子工学科5年 根本 真響

第21回 IARU世界ARDF選手権に参加して

突然ですが、ARDFという競技をご存知でしょうか?過日、この見出しで全日本ARDF競技大会の記事を青武台だよりで書かせていただいてから早4年になります。そして、感慨深いことに、昨夏にチェコ共和国で開催された第21回IARU世界ARDF選手権大会に4年前の全日本大会と同じメンバーが参加しました。

この競技は山や森などの野外に隠された発振器を専用の受信機を使っていかに多く発見し、且つ、制限時間内にいかに早くゴール地点に帰還できるかを競います。本世界大会には28カ国の選手が参加しました。福井高専からは私(写真の左から2番目)と引率いただいた東先生(写真右端)のほか、51期卒業生の酒井大翔さん、52期卒の川井麻矢さんの計4名が日本選手団のメンバーとして参加しました。

ARDFの本場ともいべきヨーロッパでの開催であったため、強豪選手が揃い、上位入賞は果たせませんでした。国内大会との熱量の違いを感じたり、海外選手達の洗練されたパフォーマンスを目の当たりにし、自分の技術不足を痛感させられる大会となりました。

また、リベツ技術大学が大会本部となり、大学の寄宿舎が選手団の宿泊地であったこともあり、ヨーロッパの工学系大学の雰囲気も知ることができました。

今大会の悔しさをバネにして次の大会ではより良い成績が取れるよう、今後も一層努力し、やがては世界の上位に食い込みたいと思います。最後に、部活動での海外遠征という学びの多い貴重な機会に際し、ご支援をくださいました関係の教職員の皆様方に心から感謝いたします。



Special Interview

～活躍する仲間～

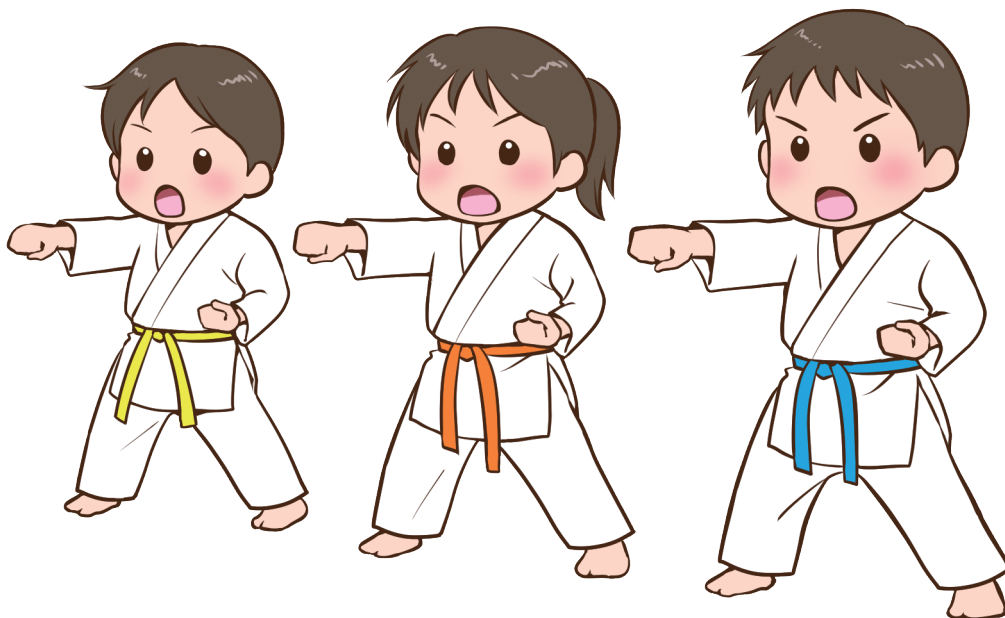
電気電子工学科5年 清水 陸

2023少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan に参加して

私は、去年の十月に少林寺拳法の世界大会に出場した。もう五年生である私は卒業研究などで忙しくなることも考えたが、学生として技術を競う場に出られるのはこれで最後だと思い参加させていただいた。私はこの少林寺拳法の大会で高得点を取るといった演武の評価をほとんど気にしていなかった。少林寺拳法は護身術であり身を守れば十分だと感じていたからだ。

しかし、この世界大会に参加して他県の優秀な拳士の演武を間近で見ることでは今の自分の演武と全国レベルの演武をダイレクトに比較することができた。各々の拳士で癖はあったが全員が技に対する解像度の高い演武を繰り広げていた。結果、その拳士達は私より何点も高い点数を出しており、成績としても遥かに上にいることを実感した。

今回の経験から、私は大会とは今の自分と他者を見比べ課題点を見つけて技術の向上を行うといった機会を作るものなのだと考えるようになった。今後もこのような機会があれば積極的に参加していきたいと思う。



Special Interview

～活躍する仲間～

令和5年度 優秀学生賞受賞者一覧

日本機械学会 富山賞

大学・短大・高専の機械系学科卒業生で、人格、学業ともに優秀な学生を表彰



機械工学科5年 駒 壮悟

公益社団法人計測自動制御学会 優秀学生賞

大学・短大・高専の機械系学科卒業生で、人格、学業ともに優秀な学生を表彰



機械工学科5年 横井 春紀

公益社団法人計測自動制御学会 北陸支部 優秀学生賞

大学・短大・高専の機械系学科卒業生で、計測、制御及びシステムに関する学術技術分野を学ぶ北陸地区の優秀な学生を表彰



機械工学科5年 廣田 成史

電気学会 北陸支部 優秀学生賞

各大学高専から成績優秀な学生を表彰



電気電子工学科5年 濱 歩空

公益社団法人日本電気技術者協会 北陸支部 優良卒業生

高専及び高校の電気科課程の優良卒業生(就職内定者対象)を表彰



電気電子工学科5年 岡田 光生

一般社団法人映像情報メディア学会 北陸支部 優秀学生賞

各大学高専から成績優秀な学生を表彰



電気電子工学科5年 野尻 健人

電子情報通信学会 北陸支部 優秀学生賞

電子情報通信関係大学・高専で、学業と研究業績が優れた学生を表彰



電子情報工学科5年 岡田 知士

情報処理学会 北陸支部 優秀学生賞

情報処理関係の大学及び高専等において、学業成績が優秀であり、かつ将来の活躍が期待される学生を表彰



電子情報工学科5年 田中 慶人

公益社団法人日本化学会 近畿支部 支部長賞

近畿、北陸地区高専の化学系課程の優良卒業生を表彰(各校2名を上限)



物質工学科5年 松井 実玖

公益社団法人日本化学会 近畿支部 支部長賞

近畿、北陸地区高専の化学系課程の優良卒業生を表彰(各校2名を上限)



物質工学科5年 三池 遼香

全国高専土木工学会 近藤賞

全国高専土木系学科卒業生で、人格、学業ともに優れた学生を表彰



環境都市工学科5年 佐々木 飛翔

日本原子力学会 フェロー賞

規定条件を満たす学業優秀な者



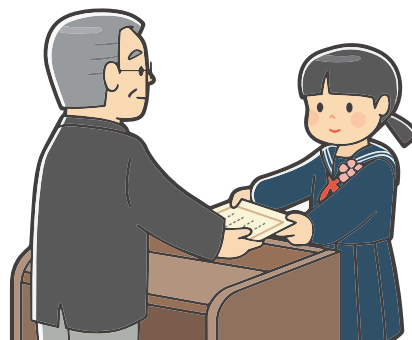
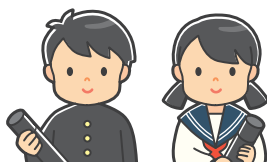
生産システム工学専攻2年 坪内 康

土木学会 教育企画・人材育成委員会 高等専門教育小委員会 土木教育賞

全国の高専、短大、専門学校の土木系学生のうち勤勉に精励し、優秀な成績を修めた者で、他の模範となる者を表彰



環境システム工学専攻2年 角屋 亘紀



～活躍する仲間～

令和5年度 ガリレオコンテスト採択一覧

学年	学科	代表学生	テーマ	連絡教員
5	機械工学科	駒 壮悟	室内で飛行可能なロボットの設計	千徳 英介
5	電子情報工学科	谷口 和也	モバイルモーションキャプチャを用いた開発	小松 貴大
2	環境システム工学専攻	小谷 啓仁	持続可能な森林管理のための傾斜地監視に用いる微生物燃料電池の開発	松野 敏英
5	環境都市工学科	寺前 海斗	インフラテクコンの全国大会に挑戦「水も滴るいい女」	野々村 善民
4	電気電子工学科	高山 遼	自転車発電機の製作	荒川 正和
3	電子情報工学科	岡本 篤舎	入浴人数カウンタのデジタル化の検証	高久 有一 原口 治
5	電気電子工学科	前川 修音	エコマイレッジチャレンジ	池田 彩音

令和5年度 福井高専ガリレオコンテスト概要報告

機械工学科5年 駒 壮悟

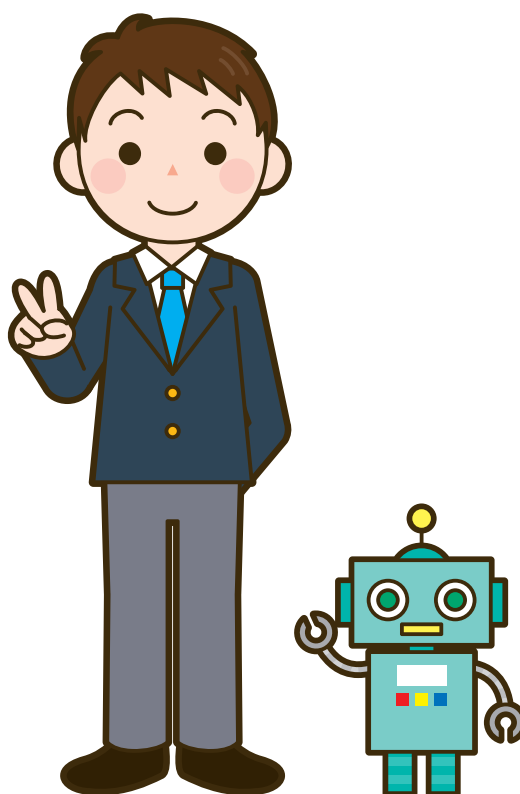
室内で飛行可能なロボットの設計

私達は室内で飛行可能なロボットの開発を行いました。

近年、ドローンは需要拡大に伴い注目を集めていますが、操縦者不足が問題となっています。これには、飛行技術習得までに長い時間が必要であることが障害となっています。そこで身近に飛行機に触れ、興味を持つ機会を増やしたいと考え、初心者でも操縦が容易で、室内のような狭い場所でも運用できる固定翼機の開発を目標としました。

この目標を達成するために低速で良好な運動性、体育館程度の空間での飛行可能性、修理の容易さ、そして安価な製作コストという4つの機体コンセプトを定めました。

機体はエルロンを廃したラダー機とし、軽量のポリプロピレン板をカーボンで補強して作成しました。全長693mm、全幅1012mm、重量96.7gと、市販品に比べて大きさの割に軽量です。設計にはFusion360を、製作にはレーザーカッターを使用しました。飛行結果は、飛行速度4.3m/s、旋回半径3.9mで、体育館での飛行に十分な旋回性と初心者でも対応可能な低速飛行を実現しました。模型飛行機未経験者の学生4名が飛行を体験し、練習90分で全員が離着陸、水平飛行を成功しました。3時間の練習で2名が8の字飛行を成功しました。これらの結果から、我々の開発した固定翼機は初心者でも操縦が容易で、室内でも運用可能であることが確認できました。



Special Interview

~活躍する仲間~

電子情報工学科5年 谷口 和也

VR技術を用いたシステム開発

近年の3Dグラフィック開発には、モーションキャプチャという技術がよく用いられている。モーションキャプチャとは、センサーを用いて人間の動きをコンピュータ上で再現する技術であり、本来この技術を使用するには、専用のスタジオや高級な機材が必要となる。しかし昨年1月にSony社から発売されたMocopiというデバイスは、スマートフォンと6つのセンサーのみでモーションキャプチャを行うことができ、比較的安価であった。そのため私たちはガリレオコンテストにて、このMocopiの研究を行おうと考えた。この研究では主に、Mocopiの性能を確認すること、Mocopiの特性を活かした開発を行うことの2つを目標とした。まず、Mocopiを使用して、簡易的な操作でありながら拡張性が高いと感じた。スマホアプリ内で3Dモデルを動かす事が可能のため、動画撮影等にはスマホのみで十分であった。また、Wi-Fi経由でパソコンと接続をすることができ、アプリケーションの開発も行うことも可能であった。今回の研究では、ゲームエンジンであるUnityを使用してサッカーゲームの開発を行ったWi-Fi経由でモーションをリアルタイムで送信することができる。ラグは1秒以下であり、違和感なくサッカーゲームをプレイ出来る結果となった。ゲームの完成後はjig.jpのサイバーフライデー等でプレゼンを行い、様々な方に体験していただいた。

環境システム工学専攻2年 小谷 啓仁

微生物燃料電池を研究しています

乾電池は使いますか?乾電池は寿命があります。突然の電池切れは不便で、電池交換は面倒ですね。太陽光発電は、電池切れの心配はありませんが、光が必要です。

みなさん、「微生物燃料電池」って知っていますか?まるで電池のように、土壌に生息する微生物の活動で生じる電気を利用できます。このメリットは4つあります。1. 装置が単純です。必要なモノは、容器、土壌、電極(プラス極とマイナス極)、電極間を繋ぐ銅線、水分です。2. どの土壌にも生息する普通の微生物によって発電します。3. 太陽光が不要です。4. 電池交換が不要です。デメリットも2つあります。1. 発電できる電力が低いです。2. 水分が必要です。

私たちは、森林の斜面の状況をセンサーで常時監視するために、センサーの電力供給源として微生物燃料電池を利用します。斜面の情報を付近の受信機に送信して、斜面崩壊に起因する死傷事故の防止、持続可能な森林管理に貢献したいです。そこで、私たちは物質工学科の松野先生と共に、微生物燃料電池の発電について土壌微生物の種類や土壌の特性や水分等を検討しています。この技術は「住宅地の崖や盛土・切土」、「河川の土手や堤防」、「山間部の道路の法面」の常時監視と事故防止にも役立つと期待しています。興味がある学生さんは一緒に研究しましょう!



Special Interview

～活躍する仲間～

環境都市工学科5年 寺前 海斗

インフラテコンの全国大会に挑戦
「水も滴るいい女」

ガリレオコンテストを通じて、私たちは先人の創意工夫に新たな技術を加えたものをインフラテコン2022に提案し、グランプリを受賞しました。

2年前から、私たちは福井市を含む地域を代表する降雨イベントについて研究を続けています。この研究成果の一部として、私たちは、歴史的事象の一つである備中高松城水攻め時の降雨イベントを明らかにしました。また、iRICを用いた流出解析の結果から、当時の内水氾濫の様子が明らかになりました。戦国時代の高松城周辺には、水攻め用に作られた人工堤防がありました。これは高松城に流れ込んだ水をせき止める役割を果たしていました。つまり、当時の土木技術者たちは、再現性の高い雨の降り方を予測し、土木構造物を設計していました。

なお、上述の備中高松城水攻めの降雨イベントに関する研究成果は日本建築学会の査読論文として採択されました。

インフラテコンの提案を通じ、地域を代表する降雨イベントは、土木構造物の設計条件として十分使用できることがわかりました。

今後の課題は、地域を代表する降雨イベントの算出プログラムを自力で作成することです。そのために私たちは、VBAの基礎知識を修得します。そして、地域を代表する降雨イベントの算出プログラムのユーザーインターフェイスを作成することを最終目標とします。

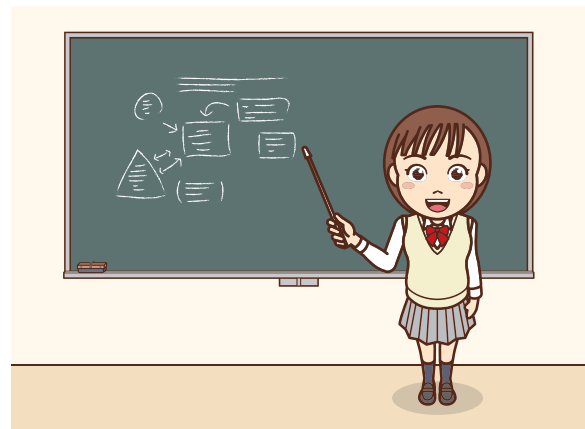


電気電子工学科4年 高山 遼

ガリレオコンテスト終

3年次から発電装置を作り始めてかれこれ1年半が経過した。最後の方はギアを使って増速を試みたが、上手くいかなかった。原因はギアの設計が根本から間違っていたことだ。恐らく文献や資料から情報を集めて時間をかけて勉強すれば完成できたかもしれないが、面倒くさ過ぎてそれはしなかった。それに当時の自分は、仮に増速を成功させても組み込む発電機の性能は参考文献の物と比較して明確に劣っていたことから、大した発電量を得られないだろう、と半ば諦めに近い状態であった。冷え切ってしまったのだ。今から開発を再開することは精神的にも技術的にも難しいだろう。増速するには入力側のギアを大きくするか、ギアを多く組み込むかの二つだ。前者はまず自分が歯車の設計を学習しなければならず、時間も必要になる。後者はスプロケットを集め、それらを何とかして回転できる状態で自転車に固定する必要がある。これが困難だったので前者に挑戦した。

正直発想は悪くなかったと思うし、開発の間は楽しかった。勉強とは違い、手を動かすと成果が物として現れるのが良かった。反省点は開発を慎重に行うことで、特に先生との相談が圧倒的に不足していたように感じる。私ももう少しで研究室へ配属される。この1年とちょっとで味わった経験を少しでもこれから始まる卒業研究へ活用したいものだ。



Special Interview

～活躍する仲間～

電子情報工学科3年 岡本 篤舎

混雑度配信システム・ 顧客分析システムの開発

このプロジェクトは、コロナ禍で入浴人数が制限された学寮の浴場で、混雑度をリアルタイムに自室から確認できるシステムが欲しいと始めたものです。

1年ほどはToFセンサ(距離のみを測るカメラのようなもの)と物体検出AIを用いた混雑度配信システムの開発を行いました。これはカメラを用いず、部屋に繋がる通路にセンサを設置するため、プライバシーに配慮した運用が行えるという構想です。

2年目からは、福井高専ビジコンや高専Dcon(ディーブラーニングコンテスト)、地域の方が集まる場での発表も行いました。ここでは混雑度配信システムの技術を転用した、防犯カメラ等の映像を使用して顧客の分析を行うシステムの開発を行いました。このシステムは、サブスク契約や前提知識を必要とする顧客分析を、買い切りで前提知識無しで行える入門機を作るという構想です。

2年間の活動で、当初の計画とは異なり幅広い活動となり、現段階で未完な部分も多くなってしまいましたが、得られたものは多く、これからも活動を続けていきます。

最後に、このプロジェクトを始めた時にはプログラミングやAIに関する知識や技術も乏しかったのですが、今ではある程度の技術とたくさんの経験や繋がりが得られました。専門を深めなければ、是非コンテストに参加してみませんか？

電気電子工学科5年 前川 修音

令和5年度 ガリレオコンテスト研究概要報告

私たちは、エコマイレージチャレンジに参加するための低燃費なマシン製作を行っています。ガリレオコンテストには昨年度から継続しての参加になります。

エコマイレージチャレンジとは、ホンダスーパーカブのエンジンを搭載したオリジナルの車両を作成し、その燃費を競う大会です。昨年度は、車体の軽量化、スプロケットの変更、エンジンガasketの付け替えといった作業を行いました。本年度も継続して燃費向上に向けた取り組みを行ってきました。カウルの作製やドライバーのシートポジションを変更し、空気抵抗を軽減することを目指しました。

燃費測定をするために昨年度同様にエコマラソン長野大会に出場する予定でしたが、直前に中止が発表され記録の測定ができなくなってしまいました。今年度行った改良がどのくらい効果があるのか検証する機会を失ってしまい、思うように活動ができないこともありました。来年はEV部門に参加することを目標にモーターの動作を確認し実際に搭載することを考えています。今年は思い通りに進まないこともありましたが今後も新たなことにもチャレンジして成長していけたらと思います。



Special Interview

～研修旅行～

研修旅行について

機械工学科3年 林 香里奈

誇りを持って働くためには

今回の工場見学旅行を通じて学んだことは、どの会社で働いているかなどは関係なく、働く人は皆、自分の仕事に対して誇りを持っているということです。

私はこの工場見学旅行を迎えるまで、仕事は高専に頂く求人票の中から何となく、適当に選ぶを思っていました。なぜなら、今この時期でも自分のやりたいことが見つからないからです。

しかし、工場見学旅行を終えた今は、その考えはすぐに捨てるべきだと思っています。強い意思を持って選んだわけではない会社に勤めても誇りなど持てないと思うからです。

見学先で見た社員の方達のように自分の仕事に誇りを持って働くためには、強い意思を持って選んだ会社に勤めることが重要だと思います。そのためには、自分のやりたいことをこの学生の内に見つけなければなりません。見つけるためには、趣味を見つけることと、色々な会社について知ることが必要だと思います。この二つのことを頭に入れて、これから行動していこうと思います。

電気電子工学科3年 佐原 瑞稀

研修旅行で感じたこと

電気電子工学科の研修先は「京セラ株式会社 滋賀野洲工場」、「TOTOサニテクノ株式会社 小倉工場」、「株式会社安川電機 中間事業所」、「日本製鐵株式会社 九州製鉄所」の四社でした。

この中で最も印象に残っているのはTOTOサニテクノ株式会社小倉工場です。この工場では検査を行う際、時間がかかる全数検査を行っていました。その理由はひとつひとつ丁寧に作り上げ、お客様にお渡ししたいという考えのもとだと知り、強く印象に残りました。至るところで職人の技が見られその緻密さ丁寧さに驚いてばかりでした。同じクオリティを保つために技を人から人、人からロボットへと伝承されており、日本や世界に普及させるための方法であったのだと気が付きました。

今回の研修旅行で様々な企業に訪問させていただき、学んだことや初めて知ったことはもちろん沢山ありました。しかし、それ以上に今回の旅行でクラス全体の仲が良くなったように思います。この一週間は普段の学校に比べて多くの時間をクラスメイトと過ごしました。時間が増えてより大変なこともありましたが、それを乗り越え、クラス全体の仲が深まりました。



Special Interview

～研修旅行～

研修旅行について

電子情報工学科3年 板谷 輝星

待ちに待った研修旅行

僕たちの世代はコロナの影響で中学校の修学旅行が中止、もしくは規模を縮小しての実施だったので今回の研修旅行を楽しみにしていた人は多かったと思います。僕もその内の一人で予定よりも1時間早く起きちゃいました。

そんな僕がこの研修旅行で密かに楽しみにしていたのがみんなのスーツ姿を見ることでした。普段は制服か私服の姿しか見ないので、スーツ姿はとても新鮮でした。男子はキリッとした見た目に反してどこか照れているような表情をしていたのが面白かったです。一方で女子は普段の可愛らしさにプラスして凛とした雰囲気が出てとても華やかでした。この時はとにかくみんなが楽しそうに笑い合っていて、今が楽しくて仕方がない少年少女でしたね。こんな笑顔を見せるんだと意外な一面も見ることができました。

出発前に撮った集合写真は僕にとって宝物です。きっと何度もこの写真を見て懐かしむのだらうと思います。3EIのみんな、そして引率して下さった先生方、何物にも代えがたい素敵な時間をありがとね。これからもどうぞよろしく!



物質工学科3年 阿萬 尚海

研修旅行で学んだこと

研修旅行は単なる旅行ではなかった。小学校、中学校の頃のような修学旅行ではなく、研修旅行である。修学と研修、何が違うのか。修学は学問を修め習うことであり、研修は業務上必要な知識やスキルを身に付けるために、講師の指導や勉強会に参加して学習することである。ここから分かるように単なる学習のみでなく、もう少し専門的に、効率よく学習するための旅行が研修旅行なのである。

そう考えると確かに普通高校に通っている友達が行った修学旅行とはひと味違うものだったと思う。観光名所などで歴史などを学ぶというよりは、これからの僕たちにどんな実践的な知識が必要になってくるのか、企業・大学とはどういったものなのか、実際に現場に足を運び詳しくお話を伺う、という大変有意義な時間だった。

研修旅行ではたくさんものに触れ、たくさんものを吸収出来たと思う。今回の学びをこれからの生活に活かしていきたいと思う。



Special Interview

～研修旅行・校外研修～

研修旅行について

環境都市工学科3年 谷村 和奏

思い出いっぱいの研修旅行

「誰がトランプもってく？」

3年生になってからずっと楽しみにしていた研修旅行。私たちのクラスは関西、九州へ行きました。前日はワクワクしすぎて寝られませんでした。トランプやUNO、誰が持って行くか約束し、いよいよ研修旅行スタートです。昨日まで明かった髪の毛がみんな黒くなっています。

まず初めに、彦根お城トンネルの見学を行いました。実際に行われていた計画や測量などを知ることができとてもいい経験となりました。2日目は人と防災未来センターへ行きました。阪神淡路大震災の様子やどのように復興していったかなど、初めて知ることが多かったです。3日目には、進撃の巨人のモデルにもなっている大山ダムへ行きました。迫力がすごかったです。夜にはハウステンボスへ行きました。イルミネーションがとても綺麗でした。

1番の思い出はホテルやフェリーで友達とカードゲームや人狼をしたことです。

この研修旅行で、たくさんの新しい経験をすることができ、視野を広げることができました。計画、協力してくださった先生や企業の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。無事、研修旅行を終えることができ本当に良かったです。



校外研修について

機械工学科2年 桑原 碧優

校外研修の感想

今回の校外研修では二つの会社を見学させていただきました。初めに見学させていただいた会社は鯖江村田製作所です。鯖江村田製作所の研修で特に印象に残っている事は福井高専出身の社員の方への質問会です。質問会ではこれからの高専生活や職場選択の際に役立つ情報を教えて頂きました。学生の質問を自身の体験を踏まえて答えて下さったためとても参考になりました。質問会では新たな知識や考え方を身に付けることができ、充実した時間を過ごすことが出来ました。

次に見学させていただいた会社はEIZOです。スクリーンを作る工場には福井高専の実習工場には無い沢山の機械やロボットが稼働しておりとても興味深かったです。また、実際の工場稼働する機械やロボットにはとても迫力があり、より機械に対する興味が深まりました。機械以外にも機械の熱を逃すための工夫等が工場にも施されており、工場の設計についてもより興味が湧きました。

今回の校外研修で先輩方のお話を聞いて、新たな知識を身に付ける他、就職についての視野を広げることが出来ました。今回の研修で学んだ知識をこれからの高専生活や就職活動に活かしていきたいです。



Special Interview

～校外研修～

校外研修について

環境都市工学科2年 石田 誠一郎

現場見学で感じたこと

私たちはまず、足羽川ダムの工事現場に行きました。初めに役員の方から足羽川ダムについて説明がありました。それはとても興味深いものが多く、特に本流や支流からも水を持ってくる導水トンネルは素晴らしいかったです。足羽川本流にダムを建てられないからこそその工夫でした。説明が終わりダムの建設現場に行きました。現場にはダムの土台だけが出来ていて、未だ完成には程遠いものでした。しかし、両脇の山が大きく削られていることや、機器の大きさ、量などからダムの壮大さを感じました。

次に武生商工高校のリノベーションを見学しに行きました。僕はそこで、過ぎやすく、授業がしやすい教室にするための改築を見たり、聞いたりしました。さらに、時代や学校の要望、新設備に沿った改築をしていて、リノベーションは新しい機能、設備を工夫して付けていくのだと知りました。

今回の現場見学を終えて感じたことは、工夫を凝らして問題を解決していくことが大事だ、ということです。将来、あるいは、近い未来に多くの問題が現れることでしょう。工夫のための知識、解決のための行動力をこれからの高専生活で高めようと思います。



令和5年度 第2学年校外研修先一覧

研修日	学科	研修先	引率者
10月18日(水)	機械工学科	株式会社鯖江村田製作所	相場 大佑 高橋 奨
		EIZO株式会社	
	電気電子工学科	日本ゼオン株式会社 敦賀工場	挽野 真一 松浦 徹
		ニデックテクノモータ株式会社 福井技術開発センター	
	電子情報工学科	株式会社jig.jp 福井めがね工業株式会社	青木 宏樹 青山 義弘
物質工学科	第一稀元素化学工業株式会社 塩野フィネス株式会社	長谷川智晴 山脇 夢彦	
環境都市工学科	国土交通省近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 福井県 土木部 公共建築課	池田 彩音 蓑輪 圭祐	

Special Interview

～文化体験日～

文化体験日について

F1 魚住 要

F1の文化体験日

私のクラスは、文化体験日に「ラポーゼかわだ」を訪れ、BBQをして楽しんだ。その前に私を含め何人かが、パン作りをした。パンの形には、餃子や可愛い女の子などと素晴らしい発想のパンがたくさんあった。焼きあがったパンは、想像の何倍にも膨れ上がっていた。そして、メインのBBQが始まった。同じクラスの仲間とテーブルを囲み、お肉やマッシュマロを頬張った。私のテーブルでは、メに焼きそばを作り、1人がそこにポテトチップスを入れた。なんと、その組み合わせがプラスとプラスなのにマイナスになり、メなのに食べるのが罰ゲームになってしまった。しかし、そのひとときも今ではいい思い出だ。BBQが終わり、「なんか、整いたいな～」と思ったらなんと、施設内に温泉があった。そこは、サウナも露天風呂もしっかりあり、友達といい汗を流した。このように、とても内容の濃い一日を過ごすことができた。しかし、次の日通常通り学校があるという気持ちを抱えながら乗るバスはとても憂鬱だった。しかし、気力に満ち溢れて次の日に学校に登校することができた。



F4 齋藤 豊

文化体験日

文化体験日に僕たちが訪れたのは石川県金沢市だ。僕にとってあまり馴染みのない石川県、とても楽しみにしていた。

事前に決めていた4、5人のメンバーで自由に活動することになっており、僕たちは始め二郎系のラーメン屋の(かぐら)という店に足を運んだ。初めて食べる二郎系ラーメン。山のように盛られた茹で野菜、強いニンニクの風味、濃厚な醤油のスープ、何もかもが予想以上で美味しかった。特に、肉厚でよく味の染みたチャーシューは最高だった。次の目的地の移動中に強烈なニンニクの風味を消すため、ミント味のガムを僕たちは口にした。

それでもあまり変わらないことをみんなで笑い合いながら九谷焼の絵付け体験に向かった。見る、食べる以外の体験をして、作品を残したかったからだ。工房に入ると、歴代の創作作品や、様々な技法を使った作品が展示されていた。ここまで美しい作品を目にすると、自分に少し自信がなくなっていたが、我ながら上手く描けた。作品が届くのをこころ待ちにしている。

とても充実した1日だった。



Special Interview

～退職にあたって～



電気電子工学科 山本 幸男

退職にあたって

「コラー!どこの学生や!」本校の教員として赴任した初日の朝のことです。600CCのオートバイで通勤したので、守衛さん(当時)に学生と間違われ、こっぴどく怒られたのです。「あの～電気電子工学科の助手になった山本と申します。」そしたら守衛さんの顔がみるみる青ざめ「いや～その～あの～うん…」と声にならない声を絞り出していました。

あれからもう39年が経ってしまいました。本当に月日の流れは早いものです。いったい何人の卒業生諸君に関わってきたのかなあと勘定してみたら、部活(卓球)で関わった他学科の卒業生も含めて約1800名くらいかと思います。私達教員にとって彼ら卒業生(志半ばで進路変更した諸君も私は親しみをこめて「卒業生」と呼んでいます)は私の一番の「財産」です。本当にありがとう。私の研究室所属だったA君はこの春から世界一の自動車メーカーの部長になるそうです。S君は電気電子分野とは全く異なるファッションの分野で、フランスのバリで頑張っています。また私が担任したクラスで卒業したF君は学位を取って本校の教員として戻って来てくれました。別な卒業生のM君も母校で教鞭を取って頑張ってくれています。また別な卒業生のT君は京都大の教授になり、O君は神戸大の教授として活躍しています。もうそろそろ、ここあたりが引退のタイミングではないかと感じています。

この39年で本校を取り巻く状況は本当に大きく様変わりしました。しかし我々教員が学生の成長を願う気持ちは少しも変わっていません。今後の本校の発展を心からお祈りしています。

長い間、本当にありがとうございました。



電気電子工学科 秋山 肇

退職にあたって

「トンネルを抜けると雪国であった。」

本校へ赴任した6年前、思わずサンダーバードの車中で呟いたことを思い出しました。エンジニア生活から教員生活へ、生活のパターンが180度変わることなど予想することもなく私の福井での生活がスタートしました。

いざ授業が始まると授業配分の頃合いがなかなか掴めず、学生諸君がどこまで理解してくれたのか把握できないままに「独演会」がシリーズ化していくというジレンマに悩まされました。それにも増して辛かったのは、仕込みに仕込んだ「Bakusyouネタ」がほぼ不発続きで取り付く島も無くなったことです。そんな窮地に陥った私を救ってくれたのが川柳でした。授業中に爆睡する学生を眺めながら何気なく「悪夢から目覚めてみても授業かな」と呟いたところ、初めて反応を示してくれた学生諸君の様子は今でも大事な思い出です。季節外

れの雪解けであったのかもしれませんが。

私が教員への転身を志す動機となったのはエンジニアを取り巻く環境を変えていく必要があると痛感したからでした。皆様ご存じの通りエンジニアには様々な職種があります。高い学力と地道に努力する姿勢は共通して求められる資質ではありますが、若いエンジニア諸氏が現場で苦悩する要因として「他者と伝え合う言葉を見つけれないという壁」があるように感じます。それは職場で解決すべき問題との捉え方もありますが、学校教育特に「高専教育」の中に解決のカギが潜んでいるように思えるのです。

とりとめのない挨拶となってしまい恐縮です。皆様の益々のご発展を祈念しつつ、もう少しこの課題に取り組むべく私も引き続きトンネルを抜けていきたいと思っております。



物質工学科 常光 幸美

歲月不待

平成十一年桜花爛漫の陽春四月、夢希望に溢れて新天地福井高専赴任。そして、令和六年早春三月、いよいよ定年退職、ふと気がつけば春光天地に満ちて夢のような周りの春景色。顧みますれば、平成元年向夏六月九州大学助手着任以来、教育研究職を奉じて都合三十五年、福井高専教員として四半世紀、思えば長い歲月ではございますが、不才の身に微力ながらも大過なく勤務できましたこと、お蔭をもちましてこうして定年という節目を晴れやか心で迎えられるのも、ひとえに教職員皆様の終始御懇切丁寧な御指導御鞭撻と御心温かい御支援の賜物であり、誠に有難く衷心より深謝申し上げます。

長き歲月を振り返り自らを省みて「我が教育研究人生に一片の悔いもないか」と自問自答。春夏秋冬の移ろいは無情にも刻々と過ぎ去り、まさに「歲月人を待たず」と戒めの如く些か諦めの境地。「生かされて生きる」と誰にも負けまいと全身に力を込めて精一杯奮闘をしていた自分。そもそも己の人生に勝ちや負けという概念などは一切存在もしないのに、自分で勝手に生み出した土俵で他人の価値を相手に独り相撲をして、一喜一憂に人生を無駄に浪費していたように思います。今後は、肩肘張らずにあるがままを受け入れて自分の人生を眺め、自分をもっとよく知り、自分を信じ、ときには自分を認め、柔軟に物事を取捨選択し、あるがままの自分の生き方で、自分自身のこれからの人生を誇り高く生きていきたいと思えます。人生百年時代。楽しく充実した人生に向けて新たなる出発のスタートライン。そして、将来、いつか真の自分のプライドと人生の大切な生きがいを見いだせるように。

最後に、本校福井高専が、今後、百年に向けて、いつの時代も、幾年の難き時代にも如何なる危機に瀕しても、常に社会の要請に応え、社会を支え、明るい未来を拓く、真に国際性創造性豊かな技術者人材「グローバルイマジニア」を育成する技術者教育の中核として存立続け、産業界そして地域社会と共に益々発展されることを祈念して退職の御挨拶とさせていただきます。皆様の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げます。

～学校通信～

令和5年度 福井工業高等専門学校 卓越した学生の表彰及び第3回学生表彰受賞者一覧

福井工業高等専門学校卓越した学生

環境都市工学科5年	窪田 多久見	生産システム工学専攻2年	伊部 賢人
-----------	--------	--------------	-------

校長特別賞

International Journal of Society Systems Science 論文掲載ほか
環境システム工学専攻2年 角屋 亘紀

第58回全国高等専門学校体育大会(個人)			
水泳部	電気電子工学科3年	谷口 柊弥	・100m自由形 優勝【特別表彰】・200m自由形 優勝 ・4×100mメドレー 2位
	環境都市工学科4年	佐々木 俊亮	・100m平泳ぎ 2位 ・4×100mメドレー 2位
	機械工学科2年	山崎 淳矢	・4×100mメドレー 2位
	電気電子工学科2年	本間 詩也	・4×100mメドレー 2位
バドミントン部	物質工学科4年	笠松 青夏	・女子ダブルス2位
	物質工学科3年	細井 遥和	・女子ダブルス2位

第58回全国高等専門学校体育大会準優勝(団体)	女子バドミントン部	第34回全国高等学校アマチュア無線コンテスト高校マルチオペレータ7MHz部門・優勝(団体)	アマチュア無線研究会
-------------------------	-----------	---	------------

第34回全国高等専門学校プログラミングコンテスト競技部門優勝			
電子情報工学科4年	高橋 知也	電子情報工学科4年	辻 大知
電子情報工学科4年	前田 学		

校長賞

令和5年度日本動物学会中部支部発表会ポスター発表部門最優秀賞	第58回北陸地区高等専門学校体育大会優勝(団体)
物質工学科5年 高縄 真大朗	女子テニス部 女子バレーボール部

第58回北陸地区高等専門学校体育大会優勝(個人)				第21回IARU世界ARDF選手権大会出場ほか	
陸上部	機械工学科3年	笠原 彰紘	男子走高跳 優勝	電気電子工学科5年	根本 真響
	電気電子工学科3年	齊藤 翼	男子110mハードル 優勝	学生の模範となる行為(特殊詐欺被害防止)	
	機械工学科1年(F4)	酒井 康輔	男子砲丸投 優勝	環境都市工学科5年	辻 青伶
	電気電子工学科1年(F5)	松田 陽	男子5000m 優勝		
水泳部	電気電子工学科1年(F1)	植田 朔也	4×100mメドレー 優勝		
	機械工学科1年(F2)	森 蓮	200m平泳ぎ 優勝		

奨励賞

1年間学業成績優秀者			
機械工学科3年	石川 翔月	機械工学科3年	前田 煌陽
物質工学科3年	有馬 魁兜		

日本化学会近畿支部2023年度北陸地区講演会と研究発表会優秀ポスター賞	
物質工学科5年	富原 颯太

TOEICにおいて成績優秀者					
環境都市工学科5年	佐々木 飛翔	環境都市工学科5年	中村 文哉	電気電子工学科4年	CALVIN LING CHUNG HUNG
電子情報工学科4年	中尾 悠	電子情報工学科4年	彦坂 天曇		

第58回北陸地区高等専門学校体育大会および第59回福井県高等学校新人大会入賞(個人)			
陸上部	電子情報工学科3年	近藤 涼太	男子走高跳 3位
	電子情報工学科3年	前田 透海	男子1500m 3位
	電気電子工学科2年	明新 泰河	男子800m 3位
	物質工学科2年	森下 凌	男子やり投げ 3位 (福井県高校新人大会:男子やり投げ 2位)
	電子情報工学科1年(F3)	栃木 源次郎	・男子三段跳 2位 ・男子走高跳 2位 (福井県高校新人大会:男子走高跳 優勝)
水泳部	物質工学科2年	五十嵐 柚奈	女子800m 2位
	機械工学科1年(F2)	藤井 一楓	100mバタフライ 2位
バドミントン部	物質工学科5年	大西 ほの香	女子ダブルス 2位
	環境都市工学科5年	田嶋 倭奈	女子ダブルス 2位

令和5年度福井県高等学校秋季少林寺大会最優秀賞(組演武)	第29回北陸の家づくり設計コンペ佳作
機械工学科1年(F2) 藤井 一楓	機械工学科1年(F4) 鈴木 智大
	環境都市工学科5年 窪田 多久見

令和5年度福井県高等学校将棋選手権大会A級準優勝	令和5年度全国高等学校将棋竜王戦福井県大会A級準優勝ほか
物質工学科3年 橋本 晃宏	電子情報工学科2年 梶 京四朗

～学校通信～

部・同好会の紹介

部活動として体育部が18、文化部が9、同好会が13あり、幅広い分野で活発な活動が行われています。



体育部 ハンドボール部

ハンドボール部は全国高専大会優勝を目標に活動しています。活動日は火曜日、水曜日、金曜日、土曜日の週4日です。今いるメンバー全員が未経験者ですが、全員で協力して濃い練習をしています。練習の雰囲気もよく、みんな楽しく活動できています。

指導教員 川村 敏之、芳賀 正和、柳原 祐治



体育部 ソフトボール部

ソフトボール部は、少ない人数で活動しています。経験者、初心者に関わらずみんなで楽しく取り組んでいます。福井県はチーム数が少ないため、北信越大会等にも毎年参加しています。ぜひ見学だけでもきてみてください。

指導教員 田安 正茂、辻子裕二



体育部 少林寺拳法部

少林寺拳法部は、第一体育館2階で週3回の活動をしています。突き蹴りだけでなく、合気道とも共通した相手の力を利用した投げや関節技もあり、護身術として最適です。未経験者でも卒業までに黒帯を取れますよ。

指導教員 堀井 直宏、藤田 克志、市村 葉子、岡本 拓夫



文化部 吹奏楽部

吹奏楽部は28人で平日の放課後に心和館で活動しています。普段は楽しく、コンクール前や高専祭前は集中して練習しています！活動場所が少ないので練習場所をください！！よろしくお願いします！！

指導教員 福嶋 宏之、小越 咲子、森 貞、波多 浩昭、秋山 肇



同好会 天文同好会

天文同好会は、日中ではほぼ活動を行わない同好会です。頻りに夜、外に行き天体観測を行っているわけではありませんが、天体観測がしたい人がしたいときに人を集めて、天体観測や勉強会を行う。かなり緩く活動していますが、よろしくお願いします。

指導教員 後反 克典、西野 純一、秋山 肇、岡本 拓夫



同好会 茶道同好会

現在、茶道同好会には6名の学生が所属しています。茶道では、「お茶を楽しむこと」を通じ、礼儀作法やおもてなしの心も身につけることができます。心身ともに成長できるのが茶道です。ご興味があれば、ぜひ見学にお越しください。

指導教員 坂元 知里

その他の部・同好会一覧

体育部門

- 陸上
- 卓球
- 女子バスケットボール
- 男子バスケットボール
- ラグビー
- サッカー
- 野球
- バレーボール
- バドミントン
- テニス
- ソフトテニス
- 剣道
- 水泳
- 合気道
- 軟式野球

文化部門

- 英語
- モダンミュージック
- 囲碁・将棋
- ロボット
- アマチュア無線研究会
- 放送・メディア研究会
- 空間デザイン
- 建築構造デザイン

同好会

- サイエンスクラブ
- フットサル
- ダンス
- 音鍵研究会
- スポーツクライミング
- 珈琲
- プログラミング研究会
- 書道
- セパタクロー
- 折り紙
- 文芸

令和5年度 学校行事写真



JICA講演会



危険物取扱資格表彰伝達



交通講話



ガリレオコンテスト報告会1



ガリレオコンテスト報告会2



ガリレオコンテスト報告会3



ガリレオコンテスト報告会4



性犯罪予防講演会



税と社会保障講演会



第3回学生表彰1



第3回学生表彰2



第3回学生表彰3

編集後記

今年度も「青武台だより」を無事に発行できたことに大きな喜びを感じています。クラブ活動や学会、コンテストなどでの学生たちの成長は目を見張るものがあり、彼らの情熱と努力に今年も感動しました。「青武台だより」は、長い歴史の中で培われてきた絆を再確認し、学生の活躍を内外で共有でき福井高専の教育が凝縮しています。来年度からも、さらなる学生の活躍を期待しています。学生の熱意と才能が、新たな挑戦と成長をもたらし、福井高専の輝かしい未来が創られていくと確信しています。最後に、「青武台だより」の制作に協力してくださった教職員の皆様に心から感謝申し上げます。(川村)

青武台だより

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校
発行日:令和6年3月18日

お問い合わせ

福井工業高等専門学校
〒916-8507 福井県鯖江市下司町
TEL:0778-62-1111